

第4回 笠岡市都市・地域総合交通戦略協議会

日時：令和4年5月10日（火）10：00～12：00

場所：笠岡市役所 3階 第一会議室

<議事>

1. 開会

2. あいさつ

3. 報告案件（第3回協議会の主な意見等について）

（委員）

- ・全体的に大きな問題はないと考えている。ただし、休日の数値を採用することについては、“外部からの来訪者の需要を図る為”という文言を修正して、意図を分かりやすく説明した方がよい。
- ・目標値設定の考え方について、平日と同じようにぎわいを休日も目指していく、という考え方も追記した方が分かりやすい。

（委員）

- ・指標①の名称に“休日の”と追記すると分かりやすい。
- ・目標値の考え方は、平日のようにぎわいをめざしていくという考え方で良いのか。

（事務局）

- ・そのように考えている。

（委員）

- ・指標④は内部的なモニタリングでは、上手くいかないのではないか。指標④のみ明確な数値がないのは公表資料としては相応しくないと思う。例えば、まずは実測等でアクセシビリティの観測等による指標を設け、将来的にはDXによる指標に移行した方が良いのではないか。
- ・“市街から中心市街地へのアクセス性の高い道路網の整備”については、市の外からのことではないか。バイパスの整備や案内看板の整備等は、市外向けの施策ではないのか。指標④で図る内容も異なってくる為、確認いただきたい。

(事務局)

- ・指標④については、まずは道路交通センサス等で指標を設け、将来的には置き換えることで再度検討する。
- ・“市街から…”について、取組自体は中心市街地への市内からのアクセス性向上を図るものであり誤字ではないと考えているが、“市街”という表現はマスタープランに即した内容に修正する。

4. 議事

1) 議案1 笠岡市都市・地域総合交通戦略(案)について

(委員)

- ・“現況・背景”について、少子・高齢化という文言が多く盛り込まれているが、これは間違いではないと思ってよいか。

(事務局)

- ・それぞれの取組に対する現況や背景を整理しており、分かりやすさの為に何度も重複して盛り込んだものであり、間違いではない。

(委員)

- ・3-2取組内容で、乗務員のマナーの向上について、乗務員はバス会社、タクシー会社と考えてよいか。観光に関する新たな取組と考えてよいか。また、誰が取組をする事業か。

(事務局)

- ・この取組は、乗務員の流動化や高齢化が進む中で、利便性の向上のひとつとして、接客という観点からも利用の利便性を高めていく取組である。主体は、交通事業者であり、笠岡市が補助を出しながら実施していくものと考えている。

(委員)

- ・3-5戦略目標、“市外”という表現の方が良いと思う。
- ・5-5実施スケジュールには、重点施策が多く位置付けられているが、本当に重要な取組は何か。重点施策に位置付けられていない施策は、今後具体性を考えていくという認識か。なかには、トランジットモールの整備等、住民目線から見て重点的ではないと考えられる取組もあるが、どのように考えているか。

(事務局)

- ・今後のまちづくりの流れとして、歩いて回れるまちづくりを推進するにあたり、トラン

ジットモールの整備等の歩行者が移動しやすいまちづくりに繋がる取組は必要なものと認識している。詳細については今後詰めていく予定である。

(委員)

- ・岡山県タクシー協会では、県内のタクシー事業者を対象にユニバーサルドライバー研修を行っている為、既存の取組をバックアップできるような対応にしていただけるとありがたい。

(委員)

- ・乗務員の流動化が激しいということについて、考えられる原因を教えてください。

(事務局)

- ・バス事業者においては、流動化と人材確保（人材採用と長期的な人材の確保）が大きな問題になっており、特に中山間地域である笠岡市は、福山市や岡山市などと比較して、採用が加速しにくいことが念頭になっているのではないかと聞いている。現在は対応として、交通事業者との別途協議会のなかで採用方法や人材確保について、議論を進めている。

(委員)

- ・中山間地域であることは関係なく、そもそもやりがいや魅力がないことが、乗務員の定着に繋がっていない要因ではないか。それについてどのように考えているか、把握したかった。

(事務局)

- ・その通りである。ただし、交通事業者としては地域に根付く人材を採用していきたいという考えを持っており、今後は町おこしの観点も持ちながら、交通事業者と連携して進めていきたい。

(委員)

- ・交通事業者の賃金が少ないことが、原因になっているのではないか。

(委員)

- ・そもそも自動車交通が中心の交通体系となっていることが大きな要因であり、打開策は国政が進めている取組の為、この戦略で解決に向けて取り組むことは難しい。
- ・また、自動運転等の技術が発展している中で、若い人材からも目を向けられていないということもあり、賃金を上げて持続性がない等、様々な要因が乗務員の減少に繋がっ

ている。

- ・一方で取組として、県北で進めているのは、2種免許の取得を行政が補助し、空き時間で仕事ができるようにする等のやり方もある。今後は、福山・笠岡地域公共交通計画にて議論される事項であると思う。

(委員)

- ・笠岡市は、地域から人が出て地元におらず、人口減少が大きな問題になっている。賃金の引上げも調整してはいるが、地域外からの採用となる為、一概に賃金を引き上げることは難しい状況であることは理解いただきたい。

(委員)

- ・概要版について、“笠岡駅対象エリア”や“中心市街地”等、名称が何を指すのか定義を明確にすること。
- ・目指す将来像の図は、自動車交通を充実させるような図に見えるが、取組としては自動車に関するものがない為、文言を修正する等目指す姿に寄せた絵にした方が良い。
- ・目指す将来像の図の都市拠点該当箇所を明確にすること。
- ・4-1 評価指標の設定の図は、字を大きく修正すること。
- ・指標④については、明確に整理した方がよい。当面は既存のデータ、将来的にはDXを活用したデータを採用するなど、修正すること。また、本編に関しても同様に修正すること。

(事務局)

- ・文言の修正や見た目の修正等は、改めて確認の上、修正する。
- ・指標④も指摘の通り、修正を進める。

(委員)

- ・本編の福山・笠岡地域公共交通計画について、期間は5年程度ではないかまた、作成か、実施か、正確性を持って記載すること。
- ・概要版の目指す将来像の濃いオレンジ色の囲み枠が何を指すのか名称を明確にすること。
- ・3-1 取組方針の文章について、“戦略目標に基づき”という表現は誤っている為、修正すること。
- ・3-4 実施スケジュールについて、重点的に実施する施策が多いように思う。また、戦略目標①②③において偏っているように感じるため、修正すること。
- ・4-1 評価指標の設定の赤い矢印の横の文言は、“総合指標”という名称に修正すること。
- ・5-1 PDCAサイクルの図について、グレー塗が薄い為、修正すること。

(事務局)

- ・本戦略は、中心市街地を中心としたまちづくりを進めることを考えており、そのうち中心市街地で実施する施策は、重要性が高いと考えられる為、“重点的に展開する事業”は中心市街地に実施する事業として整理しているものである。
- ・その他の事項は、指摘のとおり修正する。

(委員)

- ・本戦略で設けている重点施策はメリハリがなく、重要性が伝わりにくい為、重点施策を選ぶ際は、戦略において外せない施策を選ぶべきである。

(事務局)

- ・本戦略では、中心市街地で実施する事業を“重点的に展開する事業”として位置付けている為、誤解のないよう文言等を修正する。

(委員)

- ・施策の実施箇所で重点施策を決めて良いのか。受け手によっては、郊外向けの施策は何も実施されないように思える。重点施策については、再度検討すること。

(事務局)

- ・本編の福山・笠岡地域公共交通計画については、令和5年まで現計画が実施、次期計画の期間は令和5年度から令和9年度までの為、そのように修正する。
- ・概要版の地域拠点と他の拠点を結ぶ交通は、どのような表現にするか再度検討する。

(委員)

- ・概要版の地域拠点間を結ぶ交通は、自動車だけではない為、それらを踏まえて修正すること。

(委員)

- ・本編(2)公共交通網の“瀬戸内中央観光汽船”について、昨年屋号が変更されている為、修正すること。

(委員)

- ・今後、戦略はどのように進めていくのか。

(事務局)

- ・修正した内容については、会長からの承諾をいただいた上で、パブリックコメントに進ませてもらいたい。

(委員)

- ・承知した。
- ・パブリックコメントの内容次第では、次回協議会をすべきと考える為、内容を踏まえて検討すること。

2) その他

(事務局)

- ・5月下旬よりパブリックコメントを実施、7月に戦略を公表する予定である。

以上